

# 「うちどく」通信～2022.12～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕

【12月9日提出】

提出数／人数

提出数(欠席)／人数

4年 22／25

1年 16(1)／17☆GOOD☆

5年 12／17

2年 12(1)／13☆GOOD☆

6年 17(1)／23

3年 18／18 ☆GOOD☆

全校 97(3)／113



## 1年 M・M『まいごのねごさかな』Eわ 読んだ人:M 聞いた人:弟

M:くじらからのみこまれたときびっくりしたけど、さいごはくじらからでられたからよかったです。  
お母さん:最初から最後までももかに読んでもらいました。いろんな海の生き物たちの体の中に入って変身するところがおもしろく、たのしくうちどくができました。

## 1年 F・H『いちにちおばけ』Eふ 読んだ人:H 聞いた人:お母さん

H:おばけがこわかったけど、おもしろくて好きになりました。  
お母さん:一番最後のページがおもしろかったです。「おばけよりママがこわい」どこも一緒ですね。

## 2年 K・H『はりねずみのおいしゃさん』八女市立図書館 読んだ人:H 聞いた人:お母さん

H:さいしょのくまくんのおいしゃさんのイメージとちがってかわいいおいしゃさんでした。  
お母さん:小さな体でみんなを治していくはりねずみのお医者さん。ニコニコ笑顔のはりねずみの先生の優しさが伝わってきます。絵もかわいくほっこりする絵本でした。

## 2年 H・S『こころの花たば』Eし 読んだ人:S 聞いた人:お兄さん

S:おじいさんがお花で町をいっぱいにしようというねがいがかなくてよかったと思いました。おじいさんがなくなってからもお花のめがでてくるのもいいなあとと思いました。さいごのところのおじいさんが花たばをもらっている絵がのっているのがきれいでした。  
お母さん:一人の行動でみんなが幸せになり、そのおじいさんも幸せになるというとてもいい話だなあと思いました。もし、おじいさんがあの行動をしていなかったら、手伝ってくれた女の子とも出会ってないだろうし、その一つの行動で出会う人も多くなるので、すばらしいなあと思いました。私たちもおじいさんのようにみんなから尊敬される人になるべきだなあと思いました。

## 3年 T・A『さるの先生とへびのかんごふさん』Eほ 読んだ人:A 聞いた人:お母さん

A:へびのかんごふさんがくすりをのんで、きつねにかぶりつくのがびっくりしました。ゾウのはなにはいるのもゆきがあるなあと思いました。クマのお母さんがはちにさされて、さるの先生にぬりぐすりをぬっていたところがすきでした。  
お母さん:へびの看護婦さんが技術というより自分の体の特徴を使って患者さんの治療をするところに驚きました。注射の代わりにかみついて、薬を注入したりひよろ長い体がメジャーの代わりになったり。次はどんな治療をするのかワクワクしながら読めました。

## 3年 M・M『かちかち山』Eや 読んだ人:お母さん 聞いた人:M

M:ふねがずんでいくのがおもしろかったです。  
お母さん:昔から有名な物語で気軽に読めました。こんなに残酷な内容だったかなあと思いました。因果応報ですが、うさぎの仕返しも大人になってから読むと強烈ですね。

## 4年 T・K『ざんねんな生き物』48さ 読んだ人:K 聞いた人:お母さん

K:リスはドングリをうめた場所がわからなくなる。ワンシーズンになると数百個ものドングリをうめますが、そのうちほりかえせるのは6割だからかわいそうだなあと思いました。  
お母さん:この本は生き物の残念なところ、というよりもへえ～とつい言葉が出てしまいそうになるくらい、驚きや面白さが伝わる本でした。

## 4年 M・Y『チューインガムひとつ』市図 読んだ人:お母さん 聞いた人:Y

Y:どろぼうはだめだしやっちゃいけない事だから、どろぼうしてもどうせみつかるし、おこられる。今後気を付ける。どろぼうは相手をいやな気持ちにするからだめだと思いました。  
お母さん:この詩を書いた安子ちゃんは最初どろぼうをしました。「もうしません、ごめんなさい」と書いた紙をもってきたそうですが、当時の担任だった灰谷さんに「本当のことを書こう」と促されこの詩を書いたそうです。この詩を書く時間、安子ちゃんはもちろん、担任の先生、お母さん、…苦しい時間だったと思います。誰にでも出来心があります。でもそのせいで苦しんだり悲しんだりする人がいる事をしっかり考えてほしいと思い今回の詩を選びました。そして私もしっかり子どもと向き合っているいいことも悪いことも会話していきたいと思いました。

## 5年 T・T『さむがりやのサンタ』Eふ 読んだ人:T 聞いた人:お兄さん

T:このさむがりやのサンタさんがプレゼントをくぼってサンタさんもクリスマス気分を味わうという本です。  
お兄さん:さむがりやのサンタさんが寒さやえんとつに愚痴を言いみんなにプレゼントを配るお話でした。おもしろいので読んでみてください。

## 5年 T・S『ボールのまじゅつウィリー』Eふ 読んだ人:お母さん 聞いた人:S

S:ウィリーが知らない人からくつをもらい、練習日にそのくつをはいた時のウィリーはサッカーがとても上手だったのでぼくはウィリーより上手になりたいです。  
お母さん:誰も相手にしなかったウィリーに突然名前もわからない人から靴をもらい、その靴を履いている時にサッカーをするととてもボールさばきが上手くなったウィリー。初めて試合に選出されたけれども当日靴を忘れてしまったにもかかわらずウィリーの活躍により勝利した話でした。とても努力家のウィリーに感心しました。子どもにも努力の大切さがわかったのかなと思えました。

## 6年 K・A『ピカドン』916こ 読んだ人:A 聞いた人:お母さん

A:広島の子どもたちが戦争の犠牲になったのがこわいと思い、戦争はほんとにだめだなと思いました。  
お母さん:広島原爆の事を当時小学生だった方々が経験した事を書いてありとても生々しく原爆の恐さを知る事ができました。本当にたくさんの方の命が犠牲になっていて、今のこの世の中でも戦争は起こっているのだから本当にやめてほしいなと思います。

## 6年 H・Y『かわいそうなぞう』Eつ 読んだ人:Y 聞いた人:お母さん

Y:この本は戦争の話で、ぞう3匹が中心の話です。戦争の悲惨さがとてもわかりやすい本でした。読んでいてとても悲しくなりました。この本はぜひ皆さんにも読んでもらいたいです。  
お母さん:私が小学生の頃も読んだことのある本でした。いまだに読むと戦争の愚かさで涙がでそうになります。